

令和5年度

■ 議会報特別委員会

行政視察報告書 ■

【視察期間】 令和5年10月2日～3日

【視察先及び視察テーマ】

・上富良野町

『議会だよりの企画・構成について』

・音更町

『議会だよりの企画・構成に関する工夫について』

【参加委員】

委員長 川村 幸栄

副委員長 高橋 伸典

委員 今村 芳彦

谷 聡

水間 健詞

中畠 孝幸

3常任委員会と同様に規定額内での視察が認められている議会報特別委員会は、改選後いち早く先進地視察を行い、「議会だより なよろ」に反映させたいとの委員会の合意のもと視察先を検討し、10月2日上富良野町議会、3日音更町議会にて視察を行いました。

■ 上富良野町 「議会だよりの企画・構成について」

全国町村議会広報コンクールにおいて企画・構成部門で奨励賞を受賞した上富良野町議会では、議会だよりの企画・構成についての工夫、力を入れたところなどを視察させていただきました。

上富良野町議会議会報特別委員会委員全員の出席に加え、説明員として前委員長と経験豊富な前委員も出席していただきました。さらに斉藤繁町長、岡本康裕副議長のごあいさつをいただきました。

奨励賞を受賞した議会だより113号と広報コンクールの応募調書にそって説明を受けました。



上富良野町議会

全国で表彰されている議会だよりを徹底的に研究し、レイアウトや見出しなど先進地の評価の高い部分を大胆に模倣していることに驚かされました。レイアウトのパターン化、テンプレートのグレードアップ化で質の高いものが作れるよう工夫されています。さらに、議会が伝えたいことと、住民が求めているものの違いについても議論を重ね、情報の詰め込み過ぎを見直し情報を削る決断をしています。

この過程では、年齢や議員経験の壁も大きい中、お互いをリスペクトしながら理解し合い、今に至った様子をリアルにお話ししていただきました。このことは私たちが今取り組んでいる議会改革にも通じるものと重く受け止めさせていただきました。

また、用語解説「ひとくちメモ」をフル活用し、読んでもらう人を想像し作り上げています。作り手の熱量が住民を引き付けているものと感じました。

■ 音更町「議会だよりの企画・構成に関する工夫について」

議会改革でも取り組みが進んでいる音更町議会の議会だよりについて、企画・構成に関する工夫について視察させていただきました。音更町議会でも広報特別委員会の全議員が出席していただき説明をいただきました。

まず、「議会だよりの編集方針及び基準」に沿い、徹底して編集作業を行っていることに学ばされました。6つの編集方針、紙面構成や15項目の掲載内容とその他による編集基準が明示されています。一つひとつは特別なことではありませんが、基本を据えているところに見習うべきものがありました。

この中には読みやすくわかりやすいように「ひとくちメモ」を活用、町民参加型の双方向性の紙面づくりには、町民モニター制度を取り入れ、ユニバーサルデザインフォントを使用して読みやすさの向上を図っています。



音更町議会

また、必要に応じて企画記事の取り組みや議会に対する厳しい町民の生の声も紹介する「議会にひとこと」なども町民参加型の双方向性の紙面づくりにつながり、より関心を寄せていただけているのではないかと感じました。

最後に、ページが埋まらない時の裏話として、手書きによる広報委員の似顔絵をつかって、「議会だよりの」ができるまでを示したページの紹介に、名寄市議会のメンバー全員から歓声があがりました。

既存概念にとらわれない自由な発想と他市町村の良いところは迷わず真似てみることに。伝えたいことも大事だが、読み手である市民が何を知りたいと思っているのかを探り、伝えていくことなど見習うべきところがたくさんありました。すぐにでも参考にさせていただきながら、「議会だよりのなよろ」のバージョンアップを進めたいと思います。

以上、議会報特別委員会の視察報告といたします。